



第12号

(2014年) 平成26年3月

発行・編集／改革・新風
 長野県庁県議会棟内(026)232-0087
 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
<http://www.kaikaku-shinpuu.com>

2月定例会 県議会

平成26年度予算を可決

2月19日に開会した2月定例会県議会は総額8491億円の平成26年度予算案を可決し3月18日に閉会しました。

改革・新風は当初予算等に対して小島康晴議員が代表質問に立ちました。(別掲)

〈予算のポイント〉

I しあわせ信州創造プランの積極的な推進
 総合5か年計画を積極的に推進するため、本庁の組織体制を見直して部局横断的取組や政策推進体制を強化し、先駆的で先導的な取組を進めるため4年ぶりの増額予算となっています。

II 信州の価値向上とブランド化の強化
 「山の日」の制定に合わせて、本県の強みである

III 景気回復の動きを確かなものとするための経済・雇用対策
 消費税率の引き上げによる影響を緩和し、景気回復の動きを確かなものとするため、国の経済対策も活用し経済・雇用対策に取り組みます。

IV 財政の更なる健全化
 3年ぶりに主要一般財

源総額の増加を見込み、県債発行の抑制や事業見直しにより、一層の財源健全化に取り組みます。
2億円追加補正予算案可決
 被災した農家を迅速に支援するため我が会派は、3月10日に本会議が開かれ「雪害緊急対策事業」(2億1787万円)の補正予算を可決しました。



雪害で倒壊したパイプハウス

二月定例会県議会代表質問

【小島議員】「しあわせ信州創造プラン」の1年目の手ごたえはどうか。新年度予算の編成で意を用いたことは何か。
【阿部知事】首都圏総合活動拠点の整備をはじめ確かな一歩を踏み出した。プランのプロジェクト事業をシーリングの対象外として予算を重点配分した。



【阿部知事】家族経営の良さは感じている。その他集落営農など多様な経営体の育成により農業の発展を目指したい。
【小島議員】交通政策基本法への評価はどうか。県の総合交通ビジョンとの関連はどうか。
【阿部知事】国として交通政策の基本方針を初めて示しており、評価する。引き続き策定される「交通政策基本計画」を踏まえ、県のビジョンを見直したい。

【小島議員】リニア活用基本構想案をどう受け止めているか。
【阿部知事】構想の内容を具現化することが重要で、市町村等とともに整備効果が県内に広く波及するよう取り組む。
【小島議員】東京銀座の「シェアスペース」をどのように活かしていくのか。
【阿部知事】単なる物産館でなく、信州の魅力を共有するコアなファンを首都圏に増やす拠点にしたい。
【小島議員】「子ども支援条例」は、今回提案すべきではなかったか。
【阿部知事】他の条例のように事前に議会で議論されていなかったのでまず要綱案をお示しした。多くの皆様に理解を得て条例案を提出したい。

【小島議員】わが恩師の「教師十戒」を基に教師像をつくり、信州教育の再生を図っていただきたい。
【教育長】教員のあるべき姿の一例として初任者研

た。真冬の公民館という悪条件にもかかわらず安曇野市の内外から多くの方にご来場いただき、生活道路の改善、養護学校の生徒や卒業生に対する支援、議会改革、県立四年制大学、高速交通網の整備など内容も多岐にわたりました。お預かりしたご意見は今後の議会活動に活かしてまいります。



県政対話集会在安曇野

「長野県の契約に関する条例」が、二月定例会に提案可決されました。これは、長野県建設労働組合連合会や連合長野からの要望に基づいて、わが会派から重点課題として知事に求め続けてきたものです。長引く不況の中、建設業などで働く労働者の賃金改善が進まず、若手労働者が定着せず、技術の継承が図られないなどの問題がありました。今後、長野県契約審議会で、経営側・労働側の委員も加わり、この条例に基づいて契約に関する県の取組方針を策定し、県民の福祉の増進を目指します。



議会改革が進む三重県庁視察、調査

会派で、観光振興と議会改革が先進的な三重県庁を調査しました。三重県議会では、都道府県議会の中で初めて議場に「対面演壇方式」を取り入れ、大型映像装置やカメラを設置し顔が見える議会運営をしています。

我が長野県の観光振興の取り組みは、「信州の山 新世紀元年」として新年度予算に盛り込みました。山岳資源を県の強み



三重県議会議場大型スクリーン

「長野県の契約に関する条例」を制定

として百年先を見据え、今年には山岳関連の行事が目白押しです。山岳高原を生かした世界水準の滞在型観光地づくりを目指して行きます。



小島康晴の 県政レポート VOL.28

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP://www.kaikaku-shinpuu.com
E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com

2月県議会

初めての代表質問に立つ

任期しめくくりの知事の諸施策を質す

一般質問

県政報告第28号をお届けします。今回は会派を代表し、質問時間60分で代表質問を行いました。これまでの私の諸活動の集大成の思いを込め、理事者の姿勢を質しました。1面記事とあわせてご覧ください。また、知事に対し、再選出馬の意欲があるならばこの議会で表明すべきと申し上げました。

大雪への対応

【小島】県の対応、他の機関との連携はどうであったか。地域防災計画の見直しの必要は?

【危機管理部長】警戒対策連絡本部、災害対策本部を順次設置し、自衛隊をはじめ関係機関と連携し、情報収集や災害対応にあたった。今回の対応を検証し課題を整理して、防災計画の見直しを検討したい。

交付税の見直し

【小島】昨年職員給与の減額を行ったが、他の道府県の対応はどうか?また、新年度の交付税の見直しは?

【総務部長】42道府県が給与減額を行った。新年度は還元される。

当初予算案

2015年

知事公約と予算案

【小島】選挙の際の公約の実現状況はどうか?
【阿部知事】公約の9割方は着手できた。

会派の提案の反映

【小島】会派の提案はどのように反映されたか?

本庁組織の改正と計画推進

【小島】本庁組織の改正は予算執行や総合計画推進にふさわしいものか?
【総務部長】企画調整機能の強化、地域振興策の効果的な展開、文化施策の一体的推進など、総合計画推進にふさわしい組織体制となる。

消費増税と補正予算

【小島】税収確保のため

この度の大雪により被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。2期目の任期も早いもので残り1年ほどとなりました。平成25年度は、危機管理建設委員会を担当しました。26年度は、本庁組織の改正に伴って所管が変わった「県民文化健康福祉委員会」の委員長を担当します。ピンチヒッターを含め3回目の委員長職ですが、引き続き「県民の生活が第一」を基本に、政務活動に誠心誠意取り組んでまいります。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

食文化の継承



ふるさと風景育成の集い

【小島】和食、あるいは信州ならではの食、その中心にある米文化をどの

取り戻したい大切なもの

農業、農村、農村風景

【小島】農村の姿をこれ以上壊すことなく、宝物として残し、観光や地域づくり、産業興しを図るべきでは。

【阿部知事】農業・農村がもたらす「美しい景観」などは、かけがえのない国民共有の財産であり、農業振興施策を積極的に展開する。

日本酒の振興

【小島】本県は新潟県に次いで全国2位の酒蔵を擁している。信州の日本酒の復権への取組は?

【阿部知事】近年は純米酒への需要が高まっている。さらに酒米の研究や品質の向上に努め、信州の日本酒を広くPRしたい。

地域をつなぐバス路線

【小島】自治体間のバス運行に対し、県はどのような支援を行っているか?
【企画部長】運行経費や購入車両の減価償却費に補助している。

交通安全対策

【小島】地域交通では安全対策も重要な課題である。新年度はどのように取り組むのか?
【警察本部長】「交通安全対策室」を設置し体制を強化する。

新しい時代に向けた

リニアと地域づくり

【小島】観光客等の包括的な受入態勢の構築が期待されるので、まちづくりなどのソフト面でも県の支援を求めたい。

【阿部知事】伊那谷自治体会議に専門的な部会を設け、必要な検討を具体化したい。

【小島】住民の不安払拭を図りつつ、早期開業に向けて、知事にはリーダーシップを発揮していただきたい。

【阿部知事】「地域振興推進本部」を設置し、本

ように取り戻していくのか。

【阿部知事】伝統野菜の振興や学校給食への活用など取組を強める。



経済団体がリニアで要請

【小島】東京のシェアスペースには期待するが、首都圏以外への情報発信も大切である。

首都圏以外への情報発信

【阿部知事】首都圏の活動拠点と連携しながら、中京圏、関西圏、北陸圏など効果的な情報発信を展開していく。



期待されるシェアスペース

県境を越えた交流への支援

【小島】三遠南信サミットは7巡し、住民交流も地に着いてきた。このようなソフト面でも県の積極的な支援を求めたい。

【阿部知事】25年度元気づくり支援金で7件採択するなど支援しているが、県自らも広域連携に積極的に取り組むたい。

地域資源で観光振興

【小島】遠山郷はじめ地域の「光」をつなげて、地道に観光振興と地域振興を図るべき。
【観光部長】観光は地域

質問の中で紹介させていただいた 恩師毛涯章平先生の「教師の十戒」です。

- 一、子どもをこばかにするな。教師は無意識のうちに子どもを目下のものと見てしまう。子どもは、一個の人格として対等である。
- 二、規則や権威で、子どもを四方から塞いでしまうな。必ず一方を開けてやれ。さもないと、子どもの心が窒息し、枯渇する。
- 三、近くに来て、自分を取り巻く子たちの、その輪の外にいる子に目を向けてやれ。
- 四、ほめることばも、叱ることばも真の愛語であれ。愛語は、必ず子どもの心にしみる。
- 五、暇をつくって、子どもと遊んでやれ。そこに、本当の子どもが見えてくる。
- 六、成果を急ぐな。裏切られても、なお信じて待て。教育は根くらべである。
- 七、教師の力以上には、子どもは伸びない。精進を怠るな。
- 八、教師は「清明」の心を失うな。ときには、ほっとする笑い、安堵の気持ちをおこさせる心やりを忘れるな。不機嫌、無愛想は、子どもの心を暗くする。
- 九、子どもに素直にあやまれる教師であれ。過ちはこちらにもある。
- 十、外傷は赤チンで治る。教師の与えた心の傷は、どうやって治すつもりか。

目指すべき教師像

【小島】信州教育の再生の柱は教師だと思いが、目指す教師像はどのようなものか。

【教育委員長】子どもを慈しむ心を持ち、学び続け、子どもとともに成長していこうとする人間味あふれる教師である。

職員との信頼関係

【小島】11月定例会での知事の発言を聞き、職員との信頼関係を持って仕事ができているのか心配している。

【阿部知事】職員には成果にこだわり仕事に取り組むよう求めている。モチベーションがさらに上がるよう職員との対話に意を用いたい。

県政運営の基本姿勢

【小島】知事にとって、取り戻したいものは何か。
【阿部知事】長野県の将来に向けて「次世代に残したいもの」と「変えていくべきもの」という観点で考えていきたい。

大切な人づくり

短期大学4年制化

【小島】まだまだ不安や懸念の声もある。幅広い県民意見をどのように集約していくのか。

【阿部知事】全体としては賛同する意見が多いと受け止めているが、一部意見の相違もある。共通認識がもてるよう努力する。